

研究機器部門【学部生・学生研究員・（大学院生）】特別利用申請書

申請年月日／対象	年 月 日 ☐ 学部生 ・ ☐ 学生研究員 (いずれかに✓) ☐ 大学院生 (学生証で登録する場合のみ)
申請の種類 (どちらかに✓をつける)	☐ 新 規 ☐ 更 新
(フリガナ) 利用者氏名	
学部・学年／学籍番号	学部 学年 / 学籍番号：
電子メール (本学発行のもの)	@s. ompu. ac. jp
利用予定期間	年 月 日 ～ 年 月 日
配属教室名	
利用方法	<学生の単独利用> ☐ あり ☐ なし <カードリーダー登録> ☐ 必要 ☐ 不要
〈利用に関する確認事項①〉※利用者本人がチェックしてください。 1) 研究機器部門の利用にあたっては、最新の利用手引きを精読し、本学の規程、利用手引等を遵守します。 2) 単独利用する場合は、許可されていない機器、時間帯には、必ず担当教員と一緒に利用します。 3) 部門からの連絡事項がある場合は、電子メールにて受け取ることを承諾します。 以上に ☐ 同意します	
〈利用に関する確認事項②〉※担当教員がチェックしてください。 ☐ 学部生・学生研究員等が単独で使用する機器・設備については使用方法、使用ルールなど十分に指導を行います。 ☐ 共同利用機器を学生が単独で利用する場合は、別表に記載の必要回数に達するまでは必ず担当教員が同伴して使用します。 ☐ 機器・設備の予約、取得データの管理は担当教員が行います。 ☐ 単独利用機器以外の機器や許可時間外に機器を利用する場合は、必ず担当教員が同伴します。 ※学部生・学生研究員の単独使用は、安全面を考慮し技術員が在室している平日 9 時から 18 時までとしています。 (大学院生を除く) ☐ 学部生・学生研究員等が利用中にケガをした場合、又は機器や設備等に故障や不具合が発生した場合は、速やかに研究機器部門へ届け出るとともに、万一、過失を伴う場合は配属教室が責任を持って対応いたします。	
担当教員氏名 (自署) _____ 連絡先 _____	
上記の本学学部生・学生研究員・大学院生に関する特別利用申請を承認します。 なお、学部生・学生研究員・大学院生の利用により利用料が発生する場合は、配属教室で負担いたします。 配属教室所属長 氏名及び印 _____ (印) _____	

(様式 1-2)

(注意事項)

- ・カードリーダーの登録を行った場合は、学生証で入室可能です。(利用する部屋のみ入室が許可されています)
- ・本申請による利用の許可は、年度末までです。翌年度も継続して利用する場合は、年度ごとに申請してください。
- ・大学院生（大学院医学研究科）で本学職員証が発行されている方は、「研究機器部門利用申請書」（様式 1-1）で申請してください。
- ・同伴回数確認のため、使用記録簿には、担当教員と学部生・学生研究員等を連名で記入してください。
- ・下記「利用予定機器」についても必ず記入してください。

	機器の名称		場所	設置している機器の型番	回数
	☐				
利用予定機器 (該当するものに ✓をつける) ※必要に応じて行 を追加してくださ い	☐	電子顕微鏡	307	HT7800、S-5000	5
	☐	ウルトラマイクローム	306	ULTRACUT-N、PTX	5
	☐	リトラーム	306	REM-710	3
	☐	共焦点レーザー顕微鏡	304	STELLARIS 8、TCS SP8	3
	☐	クリオスタット	306	CM3050S	3
	☐	レーザーマイクロダイセクション	306	LMD7000	3
	☐	DNA シーケンサー	308	Seq Studio (※)	3
	☐	リアルタイム PCR 装置	308	Quant Studio5	3
	☐	デジタル PCR 装置	308	QX-200	3
	☐	ICP 発光分析装置	309	iCAP6300 (※)	3
	☐	遠心機 (超遠心機を除く)	310 314	CR21G、AvantiJXN-30、 Centrifuge5810R	3
	☐	セルソーター	311	FACSAria Fusion (※)	3
	☐	動物用 CT、軟 X 線発生装置	316	LCT-200、M-150WE	3
	☐	In vivo2D 発光・蛍光・X 線イメージングシステム	316	IVIS Lumina XR seriesIII	3
	☐	ケミルミイイメージングシステム	311	FUSION SYSTEM FX7、	3
	☐	プレートリーダー	311	Varioskan Lux	3
	☐	ユーティリティ (液体窒素) (※)	313		3
	☐	明視野顕微鏡	306	ECLIPSE 80i	1
	☐	蛍光顕微鏡	306	BZ-X700、BZ-X800L	1
	☐	実体顕微鏡	306	SZX12、Az100	1
	☐	PCR 装置	308	ProFlex PCRSystem	1
	☐	超微量分光光度計	308	Nano Drop ONE	1
	☐	蛍光光度計 (フルオロメーター)	308	Qubit 4	1
	☐	ユーティリティ (製氷機・純水装置)	310		1
	☐	蛋白解析迅速化システム	311	Wes System	1
	☐				
	☐				
	学生が単独で使用できない機器				
	☐	各種 超遠心機		Optima MAX-XP、XL-100、 XE-100	—

※ 記載の回数（学生が機器の使用方法を熟知するまで）は、必ず指導教員が同伴して使用してください。
表に記載がない機器の回数については、研究機器部門までお問合せください。

(※) の表示がある機器の利用には、利用料がかかります

< 参 考 > 研究機器部門利用料 (2024 年 4 月 1 日現在)

- ・ Seq Studio 150 円／サンプル
- ・ FACS Aria Fusion 200 円／時間
- ・ iCAP6300 400 円／MPa (アルゴンガス使用量)
- ・ 液体窒素 400 円／L

< 研究機器部門記入欄 >

受付	技師長	部門長	センター長	特別利用の可否
				可 ・ 否
備 考				
項 目	日 付	担当者	その他	
カードリーダー登録			(入室許可エリア) (入室可能時間) パターン 2 平日 9 : 00 - 18 : 00 (大学院生を除く)	
ネットワークアカウント作成 (大学院生のみ)				
登録完了連絡 (メール)				